

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月12日
【四半期会計期間】	第40期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	株式会社ケーユーホールディングス
【英訳名】	KU HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 井上 恵博
【本店の所在の場所】	東京都町田市鶴間1670番地
【電話番号】	(042)799-2130（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総合企画部長 堀内 伸泰
【最寄りの連絡場所】	東京都町田市鶴間1670番地
【電話番号】	(042)799-2130（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総合企画部長 堀内 伸泰
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第1四半期連結 累計期間	第40期 第1四半期連結 累計期間	第39期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(百万円)	10,186	11,177	43,204
経常利益(百万円)	346	646	1,967
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失() (百万円)	474	426	551
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	545	432	526
純資産額(百万円)	23,513	24,755	24,426
総資産額(百万円)	28,582	29,843	29,469
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額()(円)	28.30	26.99	34.06
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	26.65	33.70
自己資本比率(%)	82.0	82.7	82.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 第39期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

4. 第39期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

(注) 株式会社ファーレン神奈川中央は、平成23年4月1日をもって株式会社ファイブスター東名横浜を吸収合併し、社名を株式会社ファイブスター東名横浜に変更しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災発生とその後の電力事情の悪化等により、サプライチェーンが混乱し生産活動が大きく落ち込むなど、大変厳しい状況となりました。

自動車販売業界におきましては、供給面の制約及び消費マインドの冷え込みから、国産車新車販売は大きく落ち込みました。第1四半期の新車登録台数は、774千台となり、前年同期に比べ33.1%減少いたしました。また、国産中古車のマーケットも依然厳しい状況が続いており、第1四半期中古車登録台数は1,553千台（前年同期比1.9%減）と前年同期実績を下回っております。一方、外国メーカー車につきましては、新車登録台数は49千台（前年同期比12.5%増加）となりました。

このような状況のもと、当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。

売上高は、前年同期に比べ990百万円増加の11,177百万円（前年同期比9.7%増加）となりました。利益については、営業利益は前年同期に比べ306百万円増加の626百万円（同95.7%増加）、経常利益は前年同期に比べ300百万円増加の646百万円（同86.5%増加）となりました。四半期純利益は前年同期に比べ900百万円増加の426百万円（前年同期は474百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

	国産車販売事業				輸入車ディーラー事業			
	売上高		営業利益		売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当第1四半期	5,049	6.6	258	77.5	6,128	12.4	227	222.5
前第1四半期	4,734	-	145	-	5,451	-	70	-

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	23,063,012	23,063,012	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	23,063,012	23,063,012	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	23,063,012	-	6,321	-	6,439

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

(平成23年3月31日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 7,255,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,799,700	157,997	-
単元未満株式	普通株式 7,912	-	-
発行済株式総数	23,063,012	-	-
総株主の議決権	-	157,997	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,300株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数13個が含まれております。

【自己株式等】

(平成23年3月31日現在)

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
(株)ケーユーホールディングス	東京都町田市 鶴間1670番地	7,255,400	-	7,255,400	31.46
計	-	7,255,400	-	7,255,400	31.46

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,414	3,709
受取手形及び売掛金	824	812
有価証券	10	106
商品及び製品	5,215	5,069
仕掛品	39	66
原材料及び貯蔵品	152	142
繰延税金資産	263	284
その他	572	803
貸倒引当金	2	2
流動資産合計	10,489	10,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,180	6,074
機械装置及び運搬具（純額）	735	737
工具、器具及び備品（純額）	78	73
土地	9,802	9,860
建設仮勘定	488	488
有形固定資産合計	17,285	17,235
無形固定資産	52	48
投資その他の資産		
投資有価証券	700	707
繰延税金資産	33	31
その他	934	854
貸倒引当金	26	26
投資その他の資産合計	1,642	1,567
固定資産合計	18,979	18,851
資産合計	29,469	29,843

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,129	1,090
1年内返済予定の長期借入金	9	6
未払金及び未払費用	372	534
未払法人税等	477	226
賞与引当金	191	103
資産除去債務	20	20
その他	770	1,050
流動負債合計	2,970	3,031
固定負債		
長期借入金	107	105
繰延税金負債	1,479	1,465
資産除去債務	61	61
その他	424	423
固定負債合計	2,072	2,056
負債合計	5,042	5,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,321	6,321
資本剰余金	6,439	6,439
利益剰余金	16,815	17,139
自己株式	5,279	5,279
株主資本合計	24,296	24,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48	54
その他の包括利益累計額合計	48	54
新株予約権	80	80
純資産合計	24,426	24,755
負債純資産合計	29,469	29,843

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	10,186	11,177
売上原価	8,232	8,914
売上総利益	1,954	2,262
販売費及び一般管理費	1,634	1,636
営業利益	319	626
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	9	9
受取地代家賃	12	12
その他	12	7
営業外収益合計	38	31
営業外費用		
支払利息	1	1
賃貸費用	7	7
その他	2	3
営業外費用合計	11	11
経常利益	346	646
特別損失		
固定資産除却損	12	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	45	-
減損損失	718	-
特別損失合計	777	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	430	646
法人税、住民税及び事業税	136	254
法人税等調整額	93	34
法人税等合計	43	220
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	474	426
四半期純利益又は四半期純損失()	474	426

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	474	426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71	5
その他の包括利益合計	71	5
四半期包括利益	545	432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	545	432
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年6月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	207百万円	202百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月28日 定時株主総会	普通株式	84	5.00	平成22年3月31日	平成22年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	102	6.50	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	国産車 販売事業	輸入車 ディーラー 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,734	5,451	10,186
セグメント間の内部売 上高又は振替高	64	77	141
計	4,799	5,529	10,328
セグメント利益	145	70	215

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主

な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	215
当社とセグメントとの内部取引消去額	261
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	159
四半期連結損益計算書の営業利益	319

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	国産車 販売事業	輸入車 ディーラー 事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	5,049	6,128	11,177
セグメント間の内部売上高又は振替高	73	77	150
計	5,122	6,205	11,327
セグメント利益	258	227	485

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主

な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	485
当社とセグメントとの内部取引消去額	254
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	115
四半期連結損益計算書の営業利益	626

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額()	28円30銭	26円99銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (百万円)	474	426
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純 損失金額()(百万円)	474	426
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,756	15,807
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	26円65銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	-	198
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要	-	-

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するもの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月12日

株式会社ケーユーホールディングス
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山口 直志 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内野 福道 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ケーユーホールディングスの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ケーユーホールディングス及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。